



知的障害児、者のサッカー

知的障がい者がプレーするサッカーです。

日本国内に於いては約 5000 名のプレーヤーがおり、それぞれの力量により楽しんでおります。ルールは皆様をご存知の FIFA サッカールールと全く同じですが、発達障がいの度合いにより試合時間が 30 分ハーフになったりします。国際試合などは 45 分ハーフで戦います。（日本知的障がい者サッカー連盟HPより）

静岡県内では、小学生から一般まで、500名からの選手が楽しんでいます。



電動車椅子サッカー

電動車椅子サッカーとは“足を使わないサッカー”です。選手たちの多くは、自立した歩行ができない障害を持った選手が多く、なかには上体や首の保持ができないほど重度な障害を持つ選手もいますが、ジョイスティック型のコントローラーを手やアゴなどを使って巧みに操りプレーします。プレーヤーに男性・女性の制限はありません。国際的な呼称はパワーチェアフットボールとなっています。（日本電動車椅子サッカー協会HPより）

静岡県内には、4チームがあります。

アンプティサッカー

1980 年代にアメリカ人の切断障害者であるドン・ベネット氏が偶然ボールを蹴ることによりこの競技を思いつき、以降アメリカ軍負傷兵のリハビリの一環として採用されたことから一気に普及が進んだ。従来のような障害者スポーツに必要とされた専用の器具を必要とせず、日常生活やリハビリ・医療目的で使用している松葉杖クラッチ(主にロフトランドクラッチ)で競技を行うため、足に障害を持つ人々にとっては、最も気楽に楽しめるスポーツとして日本はもちろんのこと海外でも急速に普及・認知度が高まっているスポーツ。（日本アンプティサッカー協会HPより）

静岡県内には、チーム有りませんが、静岡市、焼津市、藤枝市から各 1 名が本年度のアンプティワールドカップ・メキシコ大の日本代表に選出されています。



ブラインドサッカー

ブラインドサッカーはイマジネーションとオリエンテーションを駆使した 5 人制サッカーです。また、視覚障がい者と健常者が同じフィールドでプレーすることのできるユニバーサルスポーツでもあります。B1クラスとB2/3クラスという二つのカテゴリーがあり、B1クラスではアイマスクを装着し、普通なら情報の 8 割を得ているという視覚を奪いながらも、驚くほどのプレーをする選手たちがいます。B2/3クラスは、弱視者と晴眼者がともにプレーできるフットサルです。

静岡県内にはチームがありません。



障害者のサッカーは、デフサッカー、CPサッカー、精神障害フットサル等もあります。今後、紹介し、応援をしていただく機会が設けられればと考えています。 【実行委員会】